

2016年国際航空宇宙展(JA2016)に向けて 企画小委員会を開催

次回開催の国際航空宇宙展の開催につき、2016年10月に、(株)東京ビッグサイトとの共催事業として行うことが、昨年10月の理事会にて承認された。現在、当工業会内の事務局にて、次回の国際航空宇宙展に向けた企画・運営内容について必要な準備作業を行っている。企画・運営に関しては、会員企業21社から構成される企画小委員会で検討される。平成25年度の企画小委員会も既に2回の開催を経ているが、昨年末に開催会場である東京ビッグサイトでの会場視察を含め、第3回委員会を開催したので報告する。

◇日時：2013年12月10日（火）14：00～17：00

◇場所：東京ビッグサイト

1. 概要

国際航空宇宙展（JA2016）に関する下記基本的事項について、討議を行うとともに予定会場の視察を行った。

◇開催日：2016年10月の4日間

◇開催場所：東京ビッグサイト

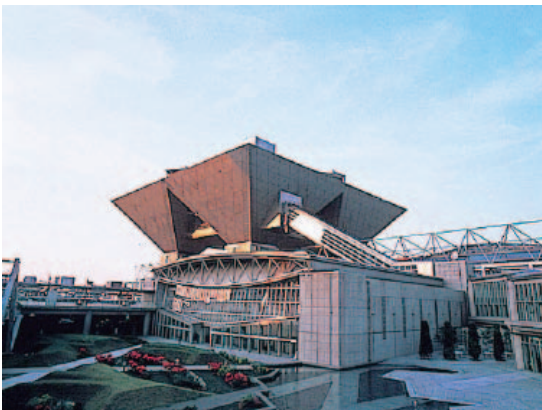
◇運営方式：(株)東京ビッグサイトと共催

◇出展申し込み開始日：2015年4月1日より

2. 展示会場視察

展示会場としては、東京ビッグサイト西展示棟および、隣接する屋外展示場を予定して

いる。(株)東京ビッグサイトの木村営業第一課長案内のもと、企画小委員会の参加委員（20名）による会場視察を実施した。西展示場は入場ゲートから最も近く、パシフィコ横浜やポートメッセなごや等、昨今の国際航空宇宙展で使用した会場面積 約20,000㎡を大きく上回る面積を有している。当展示会場は、過去TA2000（平成12年）として開催実績があるが、既に10年近くが経過している。国際航空宇宙展の位置付けも変化しているところ、今回の視察によって、次回展示会の主目的の一つである「ビジネストレードを主体にした展示会



東京ビッグサイト



西展示棟 視察

場」として最適な設備を備えた会場であることを確認できた。

引き続き視察した会議棟は、西展示場とは独立した棟となっているが、各種講演会、国際会議やシンポジウムその他の各種のセミナー等を実施するのに十分な部屋数とスペースを有しており、ビジネストレードの会合を多く開催できることを確認した。

3. 東京ビッグサイトについて

(1) 東京ビッグサイトの概況

東京ビッグサイトは展示会面積 80,660㎡を有し、日本最大の国際展示場である。年間約280件の催事と、1,000件の会議が開催され、約130万人の来場者を受け入れている。展示施設の稼働率は70%と極めて高い水準を維持し、かつ展示会が全体の約4分の3（使用面積ベース）と大きなウエートを占めていることが特徴である。

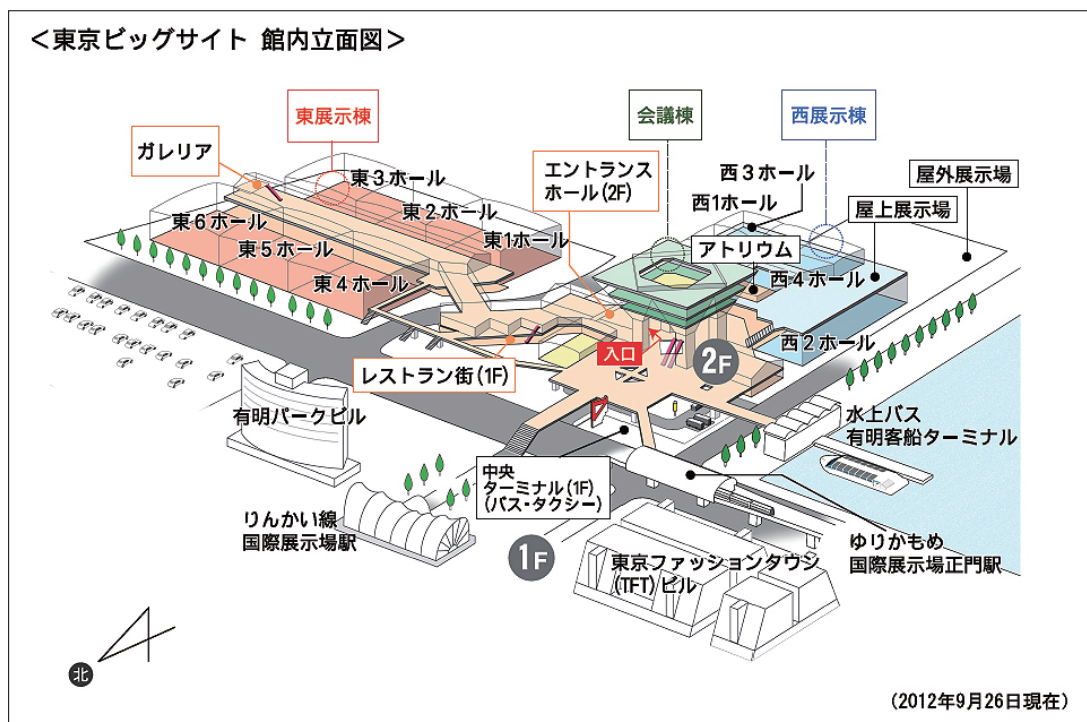
東京ビッグサイトが出展者、来場者から支

持されている理由として、地理的には、官庁のオフィスおよび日本企業の本社機能が集中する東京に位置していること、また首都圏の中心にあり、神奈川県、埼玉県、千葉県の何処からもアクセスが良いこと、羽田空港、成田空港からの便も良く、日本全国および世界各国からもアクセスが良いことが挙げられる。

また、ソフト面では、BtoB展示会では必須の会議室が豊富に備わっており、展示会場内はもちろんのこと、敷地内にある会議棟では、国際会議を行うレベルの会議室を22室有している。さらには、近隣ビルにも貸し会議室があり、単に会議だけでなくレセプション等の交流の場としても多目的に活用ができる。

昨今、大型施設に広く普及始めたWi-Fiの支援システムも近く導入される予定であり、従来の展示会では見られなかったインターネット環境がつけられると聞いている。

さらに(株)東京ビッグサイトは、単に会場貸与という業務だけでなく、主催者事業にも力



をいれている。全館を使用して行う日本国際工作見本市（JIMTOF）は総来場者15万人にのぼり、日本最大規模のBtoB展示会の主催者事業として50年の歴史を誇っている。この様に、(株)東京ビッグサイトは、会場に即したBtoB展示会の施工、運営等の豊富なノウハウも持っている。

(2) JA2016の展示会場

JA2016では、東京ビッグサイトの西展示会棟を使用する。西展示会棟は、最寄駅からすぐ近くにある展示会場で、会議棟が隣接している。また、東展示会棟から離れているため、同時期に行われる他の展示会の影響を受けず展示会を運営できる。

その一方、JA2016の開催予定時期である10月は1年で最も多くの展示会が集中する季節であることから、期間中に他棟にて開催される展示会と会議室等の確保が競合する可能性も考慮し、特色のある各種セミナー等を企画する必要がある。

東京ビッグサイトの位置する臨界副都心は各種の学習館、科学館があり、日頃から小、中学生の見学者が多い地区である。開催期間中計画しているパブリックデーには小、中学生を対象に航空宇宙技術を広報する機会を設

けることで航空宇宙産業に対して若年層の関心を高めることができる。

また、近隣の東京国際空港（羽田空港）は主要エアライン各社が集中するのみならず、首都圏を中心に物資を運ぶ航空貨物の拠点であるので、そうした地の理を生かして今後LCCや航空貨物による物流サービスをテーマとする催事も検討する価値がある。

この様に東京ビッグサイトの施設および環境は、まさに航空宇宙展の出展者、入場者のビジネス活動にとって最適のものであり、JA2016の参加者の満足を得られると確信している。今後、共同主催事業として、(株)東京ビッグサイトとSJACがそれぞれ得意分野を担当し、効率の良い、企画、運営を行うべく周到に準備を進めていきたい。

4. 国際航空宇宙展の開催実績（過去6回について）

第1回（1966年）～第7回（1993年）は、航空自衛隊基地を会場としていたが、第8回以降は、常設の展示会場を使用し、トレード中心の展示会に移行している。特に第10回以降は4年に一回の定期的な開催として実施している。

回数	名称	開催期日	場所	参加国	デモフライト	参加企業数
第8回	1991年国際航空宇宙展	1991年(平成3年) 2.14～2.18	日本コンベンションセンター (幕張メッセ)	10カ国	なし	259社/団体
第9回	1995年国際航空宇宙展	1995年(平成7年) 2.15～2.19		21カ国		283社/団体
第10回	2000年国際航空宇宙展	2000年(平成12年) 3.22～3.26	東京ビッグサイト	24カ国・ 地域		297社/団体
第11回	2004年国際航空宇宙展	2004年(平成16年) 10.6～10.10	パシフィコ横浜	24カ国・ 地域	あり (ヘリ中心)	346社/団体
第12回	2008年国際航空宇宙展	2008年(平成20年) 10.1～10.5		22カ国・ 地域	あり (ヘリ中心)	529社/団体
第13回	2012年国際航空宇宙展	2012年(平成24年) 10.9～10.14	ポートメッセなごや及び 中部国際空港(セントレア)	32カ国・ 地域	あり	664社/団体

〔(一社)日本航空宇宙工業会 国際航空宇宙展 事務局 部長 倉石 義久〕